

## 取 組 方 針

有限会社フラワーガーデンは「日頃の小さな行動が、大きな改善につながる」ことをモットーとし、顧客ニーズにあった行動を実施し、環境改善へ努力していきます。

また、当社の営業活動を実施していくなかで、環境保全を目指すことが、重要課題の一つとして認識し、地球環境への調和、地域社会との融和を図りながら発展していくことを目指していきます。

このため、私たちは、営業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを、社員一丸となって推進します。

- ① 営業活動中での省エネルギーと省資源(紙使用量節減・節水)
- ② 厨房部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物の安全な取扱い
- ④ 5 s (整理、整頓、清掃、清潔、躰)の徹底

この4方針に基づいて社員一人ひとりが、自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に、周知します。

平成 26 年 2 月 26 日

有限会社フラワーガーデン

代表取締役 橋爪 渡

### 3. 環境負荷の低減目標

26年度に向けて環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも24年度です)

{目標 1} 二酸化炭素の総排出量を2%削減する

基準年の総排出量	目標年の総排出量
524,350(kg-CO <sub>2</sub> )	513,860(kg-CO <sub>2</sub> )

{目標 2} 産業廃棄物の排出量を3%削減する。

基準年の排出量	目標年の排出量
0.7(t)	0.6(t)

{目標 3} コピー用紙の使用量を2%削減する。

基準年の使用量	目標年の使用量
330(kg)	320(kg)

{目標 4} 水使用量を3%削減する。

基準年の使用量	目標年の使用量
2820(m <sup>3</sup> )	2730(m <sup>3</sup> )

### 4. 環境保全に向けた具体的な取組

{取組 1} 二酸化炭素の総排出量の削減

- ① 各部屋の空調温度を適正に設定する(冷房時28度、暖房時20度)
- ② パソコン、コピー機の節電機能を活用する
- ③ 人のいない部屋の消灯を徹底する
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する
- ⑤ 照明器具のLED化を目指し省エネ化を図る。
- ⑥ 車両の点検を定期的に行う。
- ⑦ 給油の際、タイヤの空気圧をチェックし、燃料向上に努める。
- ⑧ アイドリングストップを徹底する。
- ⑨ エコドライブに取り組み、無駄のないアクセル操作に努める。
- ⑩ 車の空調温度を適正温度に設定する。

{取組 2}廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ① 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する。
- ② 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を設定する。
- ③ ゴミの分別を徹底し、リサイクル。リユースに努める。
- ④ 生ゴミにおいては、ゴミ処理機の活用を徹底し、堆肥化に力をいれ、敷地内の花壇に利用する。
- ⑤ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。
- ⑥ 製品をできるだけ大事に長期間しようする。

{取組 3}コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料の印刷の際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 両面印刷、両面コピーを、徹底する。
- ③ 使用済み用紙の裏面利用に努める。
- ④ コピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認し、ミスコピーの削減に努める。

{取組 4}水使用量の削減

- ① 配管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 孤立的な水の利用に取り組む。
- ③ 手洗い場に節水を呼び掛ける標語シールを提示する。
- ④ 植物散水用ホースに手元コックを取り付ける。

{取組 5}その他

- ① 製品、用具は、決められた場所に返却する。
- ② 毎月、全社員による5Sを徹底する

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、次長（環境管理責任者）を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。